

# かほく

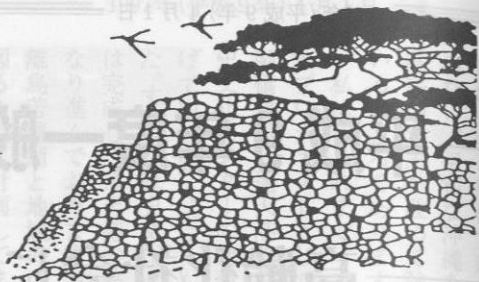
◆ 広報

4

1997

No.257

毎月1日発行



●今帰仁村の人口

男 4,847人(+2) 女 4,810人(-9) 計 9,657人(-7)

世帯数 3,238戸(+7)

平成9年2月末現在



## 小学校三人中学校二人の卒業式

シマを出る寛次君 夕貴さん

古宇利小中学校(上里喜毎校長)の卒業式が三月十七日、同校体育館で行われ、小学校三人、中学校二人の卒業生が思いの学舎から巣立っていった。

式は在校生(二十八人)教職員、保護者、教育関係者などが見守る中、厳粛に行われ、卒業生を励ます歌(「ていんさぐぬ花」は三線に合わせ、参加者全員で歌った。シマンチュの心暖かさを感じさせた。

### 今帰仁村民憲章

- 「みんなを守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 「みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 「みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 「みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 「みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

# 平成9年度一般会計予算51億2458万円

## 高齢化社会に対応できる福祉の充実

### 村民の生活安定を基本に住みよい村づくり

平成九年第一回定例議会が三月十一日から二十八日までの日程で開かれている。

今議会に提案されたのは、平成九年度一般会計予算(五一億二四八八万円、前年度比四・五%増)、国民健康保険特別会計予算(一〇億五九七六六千円、同一・七%増)、老人保健特別会計予算(一一億四三三八四万四千円、同〇%)、水道特別会計予算(四億八五〇万九千円、同〇・七%増)など、議案八件、同意案十六件となっている。

上間博安村長は冒頭、「二万村民と手を取り心を合せて、より豊かで快適な暮らしづくりを目ざして鋭意努力していきたい」と基本姿勢を述べた。

今定例議会での村長の提案事項説明と一般会計予算の概要を今月及び来月号で紹介いたします。

### 村長提案事項説明概要

#### はじめに

本日、平成九年今帰仁村議会第一回定例議会の開会にあたり、平成九年度一般会計予算案をはじめ、諸議案の説明の基本的な方針と所信の一端を申し上げ議員各位、村民各位のより一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。



▲上間博安村長

私は村政を負託されましたが、これまで二十一世紀を展望した「夢と

希望に満ちやすらぎと活力ある村づくり」をめざし村民生活に直結した各種施策をはじめ当面する課題に全力を傾注して取り組んでまいりました。村長就任以来過去八年余に亘り計画してまいりました諸事業も関係機関、団体等のご指導ご助言を賜り、さらに議会をはじめ村民各位のご協力とご支援によりまして予定どおりの進展をみる事ができましたことに対し深く感謝を申し上げます。

平成九年度も今帰仁村基本構想、基本計画に則り、これからの高齢化社会に対応出来るよう施策を推進すると共に多様化する村民のニーズに応え、村民の生活安定を基本に住みよい村づくりに鋭意努力してまいります。

さて、昨年から今年にかけて県内外の動きを振り返ってみますと、ロシア船籍タンカーの重油流失事故や厚生省の汚職事件をはじめ、空出張問題やさらにオレレンジ共済やKRC事件等社会秩序を失い、金融、経済、政界関係省

庁をまき込み国民の不信感を招き、世の中を暗くするような不愉快な事件が発生し混在いたしました。

県内におきましては、「日米地位協定の見直しと基地の整理縮小」について、全国ではじめての県民投票が行われ、投票した人々の八九%が基地の整理縮小を選択しました。そのことが、米軍基地返還、基地の整理縮小の気運がより一層盛り上がり、国内外で大きなうねりとなっていきます。特にヘリポート移設問題では、さまざまな反響があり、今後のなり行きが注目される場所でもあります。さらに米軍による鳥島での劣化ウラン弾事件が発生しました。

劣化ウランは、環境や人体への放射能汚染を強く懸念しており、久米島をはじめ、慶良間諸島や沖繩本島も汚染している可能性が高く、長期的に見れば、原爆に劣らない環境汚染となりうる」と指摘されています。

去る、二月十九日の沖繩県町村長会と県町村議長会総会に於いて、米軍機による劣化ウラン弾事件への抗議決議が全会一致で議決されました。そのことは、基地があるゆえ

に派生する事件であり、基地のない、平和な沖縄を願う、県民の意志を改めて強くしているところでもあります。

私は、これまで、本村の大プロジェクトとして古宇利架橋建設、運天港の整備、歴史文化センターの建設をかねて取り組んでまいりました。すでに、歴史文化センターは完成し、運天港の整備もかなり進んでおります。また、離島苦解消と地域の活性化を図るために計画してまいりました古宇利架橋の建設も着工する運びとなりまして、感慨深いものがあります。さらに、念願でありましたワルミ架橋建設計画もこの度採択され夢が着実に実現しているところでもあります。また、ソフト面では、人材の育成が重要であるという認識のもとに平成元年を今帰仁村の教育元年と位置づけて、人材育成に力をつけるため、福祉面の充実を図るため、諸施策の導入を図っているところでもあります。

今後とも、活力ある村づくりのために観光産業や優良企業等の誘致をはかり「若者が帰ってきたいむら」を目ざして、

リフレッシュファミリーパークなきじんの整備事業を村運動公園内に着手推進しているところでもあります。

今年、第二次総合計画後期基本計画がスタートいたします。今後五年間は、その後期計画等により、公共事業を積極的に推進し、農業の振興、



▲7月13日にオープンする屋内スポーツ広場

福祉の充実、生活環境の整備、教育文化、スポーツの振興を図り、より豊かで快適な暮らしづくりのため、一万村民と手を取り心を合せて邁進していく所存でございます。

次に具体策について申し上げます。

#### ◎予算編成について

わが国経済は、回復の動きを続けており、そのテンポは緩やかであるものの民間需要は堅調さを増していることから、民間需要中心の自立的景気回復への基盤が整いつつある状況となっているといわれています。

しかし、本村のような地方経済圏にあつては景気回復感を感じては至っていないのが実情であり、景気浮揚の環境としては極めて弱い状況であります。そこで本村におきましても、村税の増収が望めない状況から予算全般を見直す基本姿勢に立つとともに、歳入の適正なる確保に努め、歳出面では、既存の制度、施策の見直しを行いました。同時に経常経費の削減・合理化を図り、極力財源の確保をしつつ、各種施策の実施にあたっては緊急性等を勘案しながら厳しい事業選択を行い財源の効率的配分に努めるとともに、健全財政の堅持を基本として編成いたしました。

この結果、平成九年度の予算規模は、五一億二四八八万円、前年度と比較して二億一

九五〇万六千円の増加、率にして四・五%増となっております。主な理由は、運動公園の整備事業費が、五億三五一万四千円(屋内スポーツ広場三億四一〇万五千円、ふれあい広場八七四〇万九千円、村民運動場外周工事等七五〇〇万円)となつており、これが主な要因です。この事業は、平成七年度に自治省より指定を受けた単独事業であり、ます。このような状況から平成九年度は、国、県の補助金等による財源の確保ができる事業から優先的に予算措置をいたしました。

ここで平成九年度一般会計の歳入、歳出につきまして、その主な内容について申し上げます。

#### 一歳入

歳入の四三・〇%を占める地方交付税は、国の策定する地方財政計画及び前年度の実績等を勘案し、四三三三三万三千円の増額をいたしました。また村債の中で最も大きなものは、リフレッシュファミリーパークなきじん整備事業で三億七六六〇万円(前年度に比べ、六〇九〇万円(一九・三%)の増となっております。



▲運天港(上運天地区)岸壁(-4.5m)及び船播場完成予定

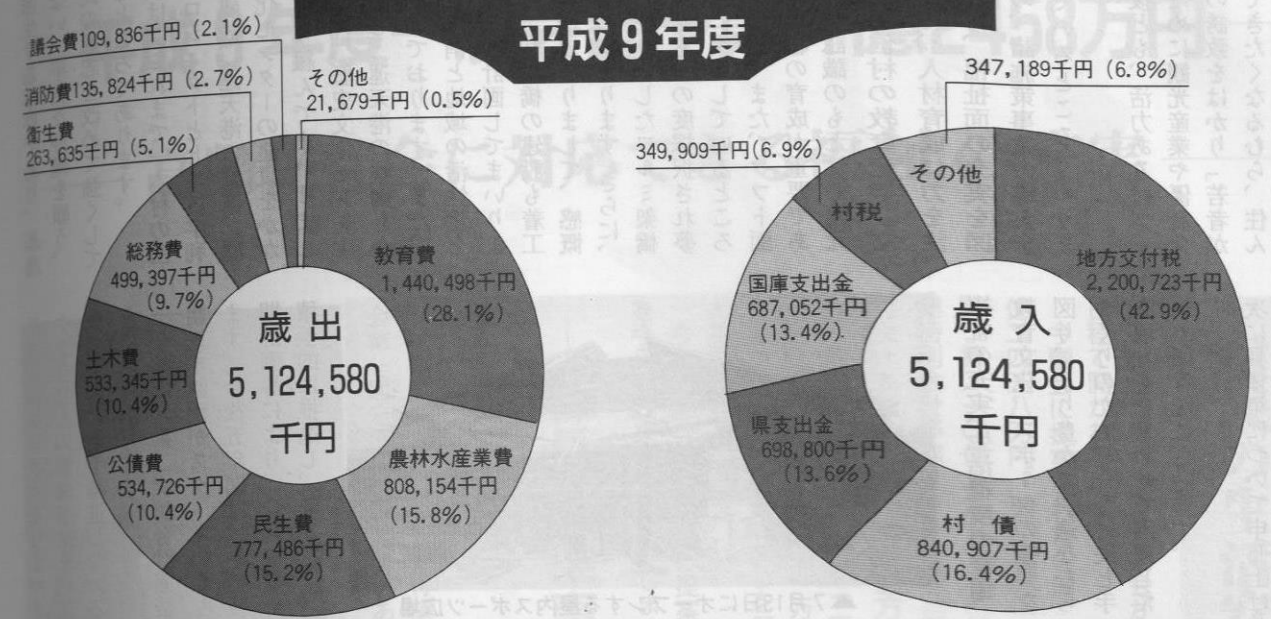
このほか村債発行を予定した起債事業として、道路が六条で一億四七一〇万円、村営住宅で三一六〇万円、兼次小学校屋内及び屋外運動場整備で、一億七〇一〇万円、減収補填債として二八〇〇万円計上し、村債総額は八億四〇九〇万円、前年度比三四・四%と大幅な増加となりました。

#### 二歳出

歳出については、教育費の伸びが最も大きく前年比で三億六三三三万五千円の増額で三三・七%の増であり、事業としては屋内スポーツ広場、ふれあい広場、村民運動場外周工事、兼次小学校屋内及び屋外運動場の整備事業であります。

その他の主な事業は、生産流通体制高度化事業、中山間

# 一般会計予算の概要 平成9年度



整備事業、水産業活性化構造改善特別対策事業、道路改良事業六条(内一条委託業務等)、住宅建設事業等となっています。

なお、将来にわたって社会資本の整備を維持していくためには、年々旺盛な財政需要が見込まれることから、今後とも自主財源の確保は不可欠であると考えております。村の将来を展望するとき、社会資本の整備など高齢化社会の対応と若者定着に備えるため、厳しい経済事情ではありますが、村においては、企業等の誘致による自主財源の確保を図らねばならないと考えております。

## ◎ 税務行政について

自主財源である村税を伸展させ、徴収を強化することは、村政発展の大きな方途であります。現在よくいわれる言葉として「福祉国家」「福祉の村づくり」ということがあります。が、地方自治体の発展は、住民の租税に頼らなければならず、行政需用を充足する納税が大変重要なことはいまでもありません。

動の振興、生活基盤等の充実、学校教育、社会教育施設の充実等、重要な課題に対応するため、超高齢社会の中で村民の生活意識の多様化に伴い、財源としての税収入に対する期待が一層高まりをみせている中、税務行政の果たす役割はますます重要なものになっております。

本村の平成九年度の予算として村税三億四九〇九万九千円を計上しており、長びく経済不況等により、村税をとりまく情勢は依然として厳しいものがあり、他市町村、他府県を中心とした滞納額が増加、全体の納税成績を悪化させている実情であります。しかし、村内の税収や収納率につきましては、各区長及び関係機関並びに住民の御理解と御協力により年々向上していることに対し心より感謝申し上げます。

## ◎ 老人福祉について

本格的な高齢社会の到来とともに、本村でも総人口に占める高齢者の割合へ高齢化率は、平成八年十二月末現在で二二・六六％に達し、超高齢化が進んでおります。このような中で高齢社会にふさわしい老人福祉制度と施策を実現し、健康で生きがい

をもち、安心して暮らしている社会を構築していくことが重要な課題となっております。高齢者の皆様方は、可能な限り住み慣れた家、地域社会で安心して生活していくことを望んでおり、今後高齢者福祉を進めていくためには、これを支援する在宅福祉サービスの充実強化とともに、在宅での生活が困難な場合には適切な施設が利用できるような養護及び特別養護老人ホーム等との連携を図りつつ、身近な地域で在宅福祉サービスと施設福祉サービスが一体的に提供できるよう推進していくことが大切であります。

また、今後、七十五歳以上の後期老人人口の割合が更に増大していくことから、寝たきり老人や痴呆性老人等の要介護老人が増加していくことも予測されるため、在宅福祉対策として「ホームヘルプサービス」「ショートステイ」「デイ・サービス」事業等の積極的な活用促進を図っていくと共に、老人日常生活用具給付や老人クラブ助成事業、一人暮らし老人ふれあい訪問等、ソフト面での福祉の充実

に努めてまいります。本村の老人保健福祉計画が

## ◎ 障害者福祉について

平成六年に策定され、高齢者が「いつでも、どこでも、だれでも」必要とする福祉サービスが受けられるよう、平成十年度と十一年度の二カ年で総合的な保健・福祉施設を計画しているところであります。高齢者の方々が元気で社会の構成員として、気軽な気持ちで活動できるように「在宅福祉、施設福祉」を推進し、活力ある長寿村をめざすとともに、うるおいと安らぎのある地域福祉の充実に積極的に取り組んでいく所存であります。

障害者が社会の一員として、いきいきと暮らしていくためには、障害者自身が主体



性をもつて積極的に参加していくよう努力することが必要であります。

しかしながら、障害者を取りまく社会環境においては、物理的障壁、文化、情報における障壁、意識上の障壁等、障害者が参加していく上でさまざまな障壁があり、このような障壁を除去していくことにより、障害者が社会の一員としていきいきと暮らしている社会にすることが、今後の重要な課題といえます。

本村においても障害者に対する施策の基本は、障害を持つ人も持たない人も、家庭や地域で共に生活できるように社会の実現を目指すことにありと考えております。村心身障害者(児)親の会や、村心身障害者協会の活動のバックアップ、村社協の運営補助、

幼児ことばの教室補助をはじめ、巡回診療の実施、日常生活用具の給付事業、更生医療の給付、舗装具の給付、更生援護施設や更生指導所への入所措置、身体障害相談員の活動等、障害者対策を推進しているところであり、今後も障害者のニーズに添ってその対象者に必要の援助と適切な対

## ◎ 児童福祉について

近年、経済構造の変化による夫婦共働きや核家族化等により、家庭における保育が困難な状況にあります。出生率の低下に伴う少子化現象が続く中、高齢化も進行しています。

二十一世紀を担う幼児の健全な成長はますます重要であると考えております。保育事業につきましては、豊かな人間性と創造力に富んだ心身ともにたくましく、健康な園児育成のため、保育環境の整備を図りつつ保育事業を推進しております。障害児保育についても、保育所の持



つ機能を十分に活用し、健常児と障害児を共に保育することによって、子どもたちがお互いにいたわりと助け合う心が養われる人間愛を育て、成長発達を全面的に支援し、障害児をできるだけ早い時期に保育することで大きな成果を収めております。

また、児童は本来家庭において両親の愛情に守られ、健全に養育されることが望ましいのですが、児童の中には、保護者がいないか又は保護者に監護されることが適切でないことがあります。このような状況を鑑み、「税金を取られる」という意識が「税金を納付する」という意識に昇華されるとき、税務行政の本当の目的が達成されたことになると思います。

事務所等関係機関と密接な連携を取りながら、必要に応じ養護施設等への入所措置をお願いしているところであります。

児童の健全育成については、国や地方公共団体の施策と児童福祉関係団体、児童福祉施設の適正利用と家庭や地域社会の人々の実践とが相まって達成されるものであります。したがって今後とも、各関係機関、団体との連携を図りながら児童福祉の充実に努めてまいります。

### ◎地域福祉(5)

社会福祉は「生存権の保障」を理念とし、最低限度生活水準の確保を原則とした社会保険制度の一環として体系化されております。

社会的に弱い立場にある方々を支援していくためには、地域の方々の理解と協力、そして思いやりの心が大切であり、また自立する精神を培う必要があります。

村では、社会福祉協議会を中心にコミュニティセンターを地域福祉活動の拠点として、障害者や高齢者等、地域の福祉ニーズに応えるための各種事業の推進と福祉問題の

解決やそれらの改善向上を図るため、活動を展開しているところであります。

平成九年度も「老人デイサービス」「老人及び身障者ホームヘルプサービス」の事業を村社協に委託すると共に「幼児ことばの教室」「おとば学園」「ふれあい給食サービス」「ボランティア育成事業」「低所得者援護活動」「心配ごと相談」等の各事業実施に対する助成を行っていきたくと考えております。

おとば学園が中心になって実施している地域交流プラザ「パール」は、障害者や高齢者の社会参加、生きがいづくりのため、おとば学園の活動の場としてより充実した運営を図るものであります。

今後とも、地域福祉活動の推進母体となる村社協、民生児童委員の組織活動等さらに、保健、医療、福祉関係者の連携により障害者も高齢者も可能な限り在宅、地域で普通に生活できるように、ノーマライゼーションの理念のもとに社会福祉の充実



強化を図り、うるおいと安らぎのある村づくりを努めてまいります。

### ◎保健事業について

住民の老後における健康保持と適切な医療の確保を図るためには、疾病の早期発見、

村民全てが「健やかに老いる」ことを等しく求めており、この課題を達成するには「自らの健康は自ら守る」という自己管理に対する認識が必要であります。特に自己の健康チェックを村民一人ひとりがなお一層、真剣に考えていくことが不可欠であります。

そのためには、効果的な健康教育を進め、健康に対する正しい知識をより深め、全体的な普及活動と啓蒙を図ることが重要であります。

本村といたしましては、健康教育をはじめ健康相談、健康診査、機能訓練、健康教育手帳交付、訪問指導等を積極的に推進し、特に住民検診については対象者の皆受診を目標に受診率を高め

疾病の早期発見、治療、予防に努めてまいります。老人医療費増大への対応については、これまで同様レセプト点検の充実、医療費通知の実施、第三者行為求償等の充実等、医療費の適正化を図ると同時に本村の健康づくり

推進協議会との連携を図りつつ、健康講座の開設、健康まつりへの全村民参加の呼びかけ等、あらゆる機会をとおして、健康の原則である三要素についての再確認及び完全実施に向けた指導等、健康づくりに対する啓蒙普及を図りながら、明るく住みよい村づくりのために積極的に取り組んでまいります。

### ◎母子保健及び予防接種事業について

母子保健事業の移譲に伴い、住民に必要な母子保健サービスを適切に提供することができるよう母子保健に関する効果的な施策を総合的に推進することが必要とされております。

母子保健事業は妊娠、出産、育児、その他健やかな子育てについて一環した適切な指導と援助が行われることが必要であります。

また、母子保健の問題は、住民生活に直結したものであり、地域の実状に応じたきめ細やかな施策が要求されるため、今後とも母子保健事業の充実強化を図り各種の事業を効果的に実施してまいります。

これまで基本事業として進めてまいりました「母子保健相談活動事業」「妊婦・乳児保健相談事業」「母子保健地域活動事業」等なお一層、母子保健の充実に、向上を図ってまいります。

乳児医療費助成事業についても、乳児の保健の向上と、健やかな育成を図り助成効果が達成できるよう引き続き乳児医療費助成事業を進めてまいります。

各種の予防接種事業については、予防接種法に基づき村長が執行することになっております。

### ◎環境衛生について

日常生活、その他の中で排出してくる廃棄物は、生活水準の向上、産業構造の変化に伴い量的増大と、質的多様化を生じ、その適正な処理が環境及び公衆衛生の向上を図る上で一層重要な問題となっ

ております。廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により家庭等から排出される一般廃棄物及び事業活動に伴って生じる産業廃棄物に区分され、その処理については一般廃棄物は市町村、産業廃棄物は各事業者の責任において法令に定める処理基準に従って適正な処理を行うことになっております。

すでに容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律が、設定されました。

廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用、確保を図り、もって生活環境の保全並びに国民経済の健全な発展に寄与しなければなりません。

従って、今後とも清掃組合、本部町、今帰仁村が連携を密にし、正しいゴミの出し方や資源化(ヘリサイクル)についてなお一層、全世帯、全村民にかかわる現実問題として村民のご理解とご協力を得ながら環境衛生全般を推進していく所存であります。

また、本部町・今帰仁村清掃組合で進めている、「ゴミ、粗大ゴミ処理施設整備事業」については、平成九年度に完成し、平成十年度より稼働致

します引き続き、本村の環境美化等、塵芥、し尿処理についても積極的に推進してまいります。

### ◎保健福祉センター(仮称)建設計画について

健康で一生を過ごすことは、すべての人々の願いであり、「人生八十年時代の健康と生きがいの確保」を目指すための何よりの前提であります。健康で生き生きとした生活を営むためには、村民一人ひとりが日常生活において「自分の健康は自分で守る」を合い言葉に積極的な健康づくりを実践していくことが大切であります。

このような、時代の進展に伴い生きがいをより充実させることがすべての願望であり、集団としての心のふれあいこそが、人間社会を構築していく上でもっとも必要とされているところでもあります。

家に閉じこもりがちの方々の集団活動と真に語り合える場の提供がもっとも重点的な課題であり保健、福祉基盤としての位置付けを図るものであります。よって、保健福祉センター(仮称)建設につ

年と定め、着々と事業を推進しているところであります。が、かかる事業推進に当たっては、保健については、県の環境保健部、福祉については、生活福祉部との調整により、平成十年から平成十一年(二カ年)継続事業として採択す

### むらびり講演会を開催 環境にやさしいEMBC農法を学ぶ



▲EMBCについて語る高嶋博士

は土壌の劣化と作物の品質の低下をもたらしていると警告した。一方、これらの諸問題を解決する方法として、EMBC農法を取り入れる必要があると強く訴えた。また、これからの世界は必ず食料問題に直面するだろうと予想。農業たがずに国たがず。文化の原点は食料」と農業のたいせつさと将来性を話していた。

EMBC農法とは、自然界に生存するすべての有効な微生物が複合発酵の状態で共存、共栄、共生して微生物のすべての有害作用を有益効果に導いて、地力の衰えた土や汚れた水を蘇生回帰させ、作物の生育にとって理想的な環境を生み出すものである。

例えば、汚水でも真水に変えることができること。

# 豚の飼育とトローニづくり

戦前・戦後を通じて、今帰仁村の多くの家で豚を養っていた。マチや農家を問わず、那覇あたりでは数頭飼っていたという。「首里方面の酒屋では、酒粕利用による養豚が盛んで、どの酒屋でも二百頭から三百頭ぐらいの豚が飼育されていた。当時の酒屋では

酒の儲けより豚からの儲けが多かった（『那覇市史』那覇の民俗編）。今帰仁村ではどの家でも一、二頭の豚を飼い、農家の常食だった芋のくずや青物の残りものを餌にしていた。子豚は四、五ヶ月くらいで成豚になり、売りに出され、農家の大切な収入源となった。旧



▲トローニの凹みを作る(昭和30年頃、クリスマン氏提供)

正前になると豚をつぶし、正月用あるいは塩づけ(スーチキ)にし、三、四月頃まで食べたものである。写真は松の丸太をウーヌ(斧)で彫り込んで豚の餌入れ(トローニ)を作っているところである。トローニの材料として琉球松やイタジイ、赤木が使われた。丸太の上下を平



▲松の丸太を彫り込む(昭和30年頃、クリスマン氏提供)

たく削り、片面に餌を入れる凹みをつけ、適当な深さまで彫り込む。凹みの両側は斜めに切り、餌が残り少なくなる中央部に集まるように工夫されていた。仕上がったトローニは豚舎に置かれ、トウंगा(百所)のシンメーナービ(四枚鍋)で煮た芋くずが豚の餌として入れられた。故仲宗根政善先生によるとトローニは「田舟」に由来する(『今帰仁方言辞典』)というが、確かにトローニの形はユビタ(深田)での田植えに使う田舟に似ている。

字今帰仁(現今泊)の戦後すぐの「議事録」(一九四七年(四八年)に「正月豚二関スル件」として「豚ハ二十日ニ屠殺、十斤ハ村へ供出、内臓ハ養主ガ取り残りハ各戸へ配給スル」、また「牝仔豚飼育ニ関スル件」として「農業会ヨリ配給ノ牝仔豚一頭(代価二百円)ハ金城嘉太郎ガ飼育スルコトニ決定報告」などの記事があり、豚を通して戦後の配給の様子が伺える。昭和二十五年、崎山と越地では「豚の百日勝負」が行われた。両字七頭づつであったが希望者が多く抽選をするほどで、最初の計量は空腹時に、百日目は満腹時に計量することを取り決めた。百日目の計量の日には競技結果を見ようと村内外から多くの人が訪れた。県下で最初の催物とあって那覇政府の係官の出席もあった。結果は一位が崎山の山城千吉氏、二位が越地の運天政林氏であった(『崎山誌』)。豚は戦前・戦後を通じて人々の生活に密着した存在で種付けやウワンプル、言い伝え等様々なテーマを持ち、また戦後のムラの復興にも大きな役割を果たした。

仲原 弘哲 (歴史文化センター)

## 第8年次学力向上対策実践発表作文

学対シリーズ34



### 読書について

古宇利中三年 福 寛次

ぼくは、小学生の頃までは読書というものがとても嫌いでした。小さい頃から本を読むことに、あまり興味をもてずじまいでした。

なぜそうなったのかよく分かりませんが、小学生の頃、先生に「図書館で読書をしなさい」と言われてやっとな図書館へ行ったが、ぼくは頭の中がなんだか、青空のようにからっぽになって、本をちらりと開いて読みま

ごしていたのです。読書をしていると、目は疲れるし、首はいたくなる、第一時間ももたないと思っていました。でも、そんなぼくが今では読書が好きになってきたのです。

休み時間などを利用して、読書をしているほどです。どうして読書が好きになったかという、中学一年の頃読書をむりやり先生にさせられ、いらいらしながら読んでいきましたが、どうしたわけか、続きが早く読みたくてたまらなくなりました。

それは、「ミステリー交差点午後五時十分」という本です。松本大地君と影山ジュン君が登場しますが、大地君は午後五時十分の交通事故にあっ

たかという、中学一年の頃読書をむりやり先生にさせられ、いらいらしながら読んでいきましたが、どうしたわけか、続きが早く読みたくてたまらなくなりました。

それは、「ミステリー交差点午後五時十分」という本です。松本大地君と影山ジュン君が登場しますが、大地君は午後五時十分の交通事故にあっ

たかという、中学一年の頃読書をむりやり先生にさせられ、いらいらしながら読んでいきましたが、どうしたわけか、続きが早く読みたくてたまらなくなりました。

それは、「ミステリー交差点午後五時十分」という本です。松本大地君と影山ジュン君が登場しますが、大地君は午後五時十分の交通事故にあっ

たかという、中学一年の頃読書をむりやり先生にさせられ、いらいらしながら読んでいきましたが、どうしたわけか、続きが早く読みたくてたまらなくなりました。

## 活動成果を発表

### 第13回村子ども会まつり



▲天底子ども会によるエイサー

また、永年にわたって村子ども会の役員として青少年の健全育成に努めた三輪茂穂さん(仲宗根)と山内昌雄さん(仲尾次)の二氏を表彰した。

ねをしていたのです。本を読むということが嫌いだっただけです。友達に「この本楽しいよ」と言われ「ふーん」と一応借りはするものの、ページをめくることもなく一日一日を過

て亡くなってしまいます。次の日大地君は、ゆるいになって事故にあった場所に現れたけれど誰一人気づいて

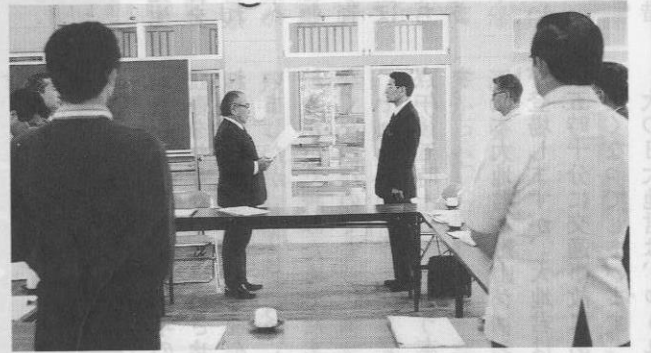
くれません。ところが、ジュン君には大地君の姿が見えて声も聞こえたのです。これは二人だけの秘密で、二人はいろいろな話をするようになるといっておもしろい内容でした。

それからは、読書ってひよつとすると案外楽しいかもしれないと図書館へ足を運ぶようになりました。今では、小さな文字の本でも構わず読めるようになりました。

文字を読むことへの抵抗がなくなり、勉強にも役に立ちます。歴史の本などを読むと、教科書に載っていないことも分かり、学習意欲も湧いてきます。中学一・二年の頃は、けっこう歴史マンガや冒険ものばかり読んでいましたが、三年生になってからは、文学作品なども読めるようになりました。

学校統合に向けた調査研究を答申

村内4中学校を1つに統合



▲西島教育長(右)に答申書を渡す島袋委員長(左)

学校統合調査委員会(島袋政春委員長)は三月十日、西島一將村教育長に村内中学校の学校統合に向けた調査研究を答申した。

同委員会は平成七年八月に発足、学校統合された自治体の調査や会議など延べ十七回に渡って検討を重ねてきた。答申書によるとメリットとして、適正な在籍において、生徒が互いに切磋琢磨して高めることができることや適正規模の学校においては、学習

の面からも適切である。また多くの部を設置できることから、生徒自身が自分の希望する部を選択して部活を楽しむことができることなど。デメリットとしては、通学距離が遠くなることから、登下校の安全確保の面や通学費用の保護者負担が増える。また、生徒数が多くなると生徒指導は小規模校より困難になることなどが挙げられている。島袋委員長は「学校統合によるメリットを基本に据え、

学校統合先進地での調査結果や児童生徒数の推移や学校規模の適正化の面から村内中学校の学校統合をしたほうが望ましい」との報告をした。これに対し西島教育長は「答申に基づいて中学校統合推進委

なんと六つ子のヤギ

ギネスブックに申請?

なんとヤギの六つ子が誕生。田港ヨシさん(湧川)の飼っているヤギが二月十七日、六匹(雄四匹、雌二匹)の赤ちゃん



▲親ヤギの心配をよそに、ヤギ小屋から出て元気に庭を飛び跳ねる6つ子の小ヤギ

んを生み、ギネス物じゃないかと周囲は驚いている。ヤギは普通一匹か二匹の出産がほとんどで、四匹でも生

員会を発足させて、地域のコンセンサスを得て積極的に推進していきたい」と答えた。中学校統合に向けてスタブトするが、今後、様々な難題や苦言が予想されるが、議論を交わし、地域住民との合意形成を図ったうえで、実現してもらいたいものです。

まれたら大きな話題となる。親ヤギはオッパイが二つしかなく、六匹全部には乳が行き渡らず、ヨシさんが哺乳ビンでミルクを与えて育てている。その為か子ヤギは愛くるしく人懐っこく直ぐに人に寄り付いてくる。ヨシさんは「三匹も生まれて喜んでいたら、少し時間が経ってからは、また三匹が生まれたのでビックリシタサー」と世界報ヒージャーに感謝していた。親ヤギは前回にも四匹の子を生んだそうで実に金の成るヤギである。

村少年少女ホッケー交流大会 今小Aが優勝

第十二回村少年少女ホッケー交流大会(教育委員会主催)は三月八日、村運動公園ホッケー場で開催され、今帰仁小学校と天底小学校から六チームが参加した。試合は二ブロックに分けて予選リーグを行い、今帰仁小Aと天底小Aが共に二戦二勝で決勝戦に勝ち進んだ。決勝戦は一進一退の好ゲームを展開したが今帰仁小Aが1対0で勝ち優勝を飾った。

気をつけよう! 悪質勧誘



“無料で差上げます”にご用心

現在、沖縄市等で民家を借用し、無料で品物を上げるということでお年寄りを呼び込み、高額な健康器具等売り込むという悪質な商法をする業者が出ているということで、用心が必要です。

契約書を見ずに安易に契約書に名前を記入したり、業者の口車に乗せられて、印鑑を押し、商品を購入してしまったケースもあるようです。

そういう場合でも一人で悩まず早めに、まわりの人や消費生活センターへご相談下さい。

沖縄県消費生活センター TEL 098-863-9214



より妻、幸子さんの香典返しとして十万円。

○鳥袋政春さん(与那嶺四六)より母、カメさんの香典返しとして十五万円。

○鳥袋政春さん(与那嶺四六)より母、カメさんの香典返しとして五万円。

※ご芳志ありがとうございます。

平成8年度住民検診C型肝炎の結果について



昨年の検診で、C型肝炎検査を同時に行いました。今帰仁地区のC型肝炎抗体の陽性率は3~5%で沖縄全体の0.8%より高くなっています。C型肝炎は、輸血、針、医療行為(昭和50年以前の予防接種等)で感染するといわれていますが、原因不明の感染が50%を占めます。感染後15~20年の潜伏期を経て突然発病することもあり、特に50~60才台の酒飲みの男性は肝臓のリスクが高くなります。今回の検診で陽性、擬陽性の方は一度精密検査を受けてください。また病院ウツルー、検診ウツルーで検査を受けたことのない方は是非一度検査することを御進めします。(村診療所でもできます)

今帰仁村立診療所 石川 清和

青年海外協力隊員募集説明会

▽日時: 4月25日 18時30分~  
▽場所: 名護市中央公民館  
▽内容: 派遣のシステムや待遇等について詳しく説明します。また、協力隊広報映画の上映や隊員OB・OGの体験発表もあります。入場料、予約等は一切不要です。お気軽にどうぞ。  
▽詳細問い合わせ: 国際協力事業団沖縄国際センター  
☎098(876)6000  
沖縄県総務部知事公室国際交流課  
☎098(866)2479

プール監視員募集

- (1) 応募資格 村内居住者で18歳以上の方  
但し、高校生は除く
- (2) 勤務期間及び勤務時間  
5月1日~10月31日(AM9:00~PM10:00交代制)  
11月1日~4月30日(PM1:00~PM10:00)  
◎月曜日 定休日
- (3) 募集人員 若干名  
※詳しい問い合わせは村教育委員会社会教育課  
☎56-2645・2647

事業主の皆様へ

労働保険の年度更新手続きは、早めに、忘れず、しっかりと!

平成9年度労働保険(労災保険・雇用保険)料の申告・納付は、4月1日から5月20日までとなっています。労働保険料申告書用紙は3月末までに皆様のもとへ発送してありますので、その内容をよくお確かめのうえ、日本銀行歳入代理店(琉球銀行・沖縄銀行・海邦銀行)各郵便局にお早めに納付して下さい。

なお、労働保険事務組合に事務委託をしている事業主は各事務組合の指定する期日までに当該事務組合へ賃金等報告書を提出して下さい。

おって、皆様方の便宜を図るため、先に送付してあります「年度更新用封筒」裏面記載の日程により、申告書の集合受付を行いますので、御利用下さい。

- 沖縄労働基準局(電話 098-868-4403)
- 各労働基準監督署
- 沖縄県商工労働部雇用保険課(電話 098-866-2362)
- 各公共職業安定所

村社会福祉協議会へ

○山城重春さん(兼次三六)より母、ハナさんの香典返しとして十万円。

○山城幸有さん(今泊一三二)より、八十五才祝いを記念して五万円。

○嘉陽宗栄さん(玉城一三)

# 4月/卯月

1997年



4/1 火	○幼児ことばの教室(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン) ○デイサービス ( ) (9:00~17:00 コミセン)
2 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン) ○村営保育所入所式
3 木	
4 金	○区長会 (14:00~ 役場2階会議室)
5 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
6 日	
7 月	○入学式(兼中・今中・湧小中・古小中・北山)
8 火	○入学式(兼小・今小・天小)
9 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)
10 木	○1才半・3才児健診(コミセン)
11 金	
12 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○学校図書館開放日 (9:00~13:00 各小学校)
13 日	
14 月	○村親善チャリティーゴルフ大会(7:00~ 嵐山ゴルフ倶楽部)
15 火	
16 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン) ○牛セリ(セリ市場) ○DPT予防接種(コミセン 12:30~13:30受付)

17 木	
18 金	○区長会 (14:00~ 役場2階会議室)
19 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
20 日	○村野球大会
21 月	
22 火	○長距離月例会 (17:30~ 運動公園)
23 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)
24 木	○ディケア
25 金	○老人大学開講式 (14:00~ コミセン)
26 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
27 日	
28 月	○こいのぼり掲揚式
29 火	○みどりの日
30 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)

### ◆春の全国交通安全運動 4月6~15日◆

## 命を守るのはあなた自身です —交通事故ゼロを目指して—

### 編集後記

■港から古宇利小中学校まで続く長い坂道は急で、歩くと息がはずむ。しかし、校庭から見えるエメラルドグリーンのは何んとも言えない美しさである。

■この坂道を九年間、毎日歩いて学校に通った寛次君と夕貴さんは、晴れて中学校を卒業し、見事に高校に合格。おめでとう。やがては住みなれたシマを出るが、シマで培った根性と思いやりの心、そして二十八人の後輩たちの思い出と期待を何時までも忘れず、頑張れ。

■あつという間の三年間であった。「広報係を命ずる」と辞令を貰い、不安だらけでスタートしたこの仕事、村民の意に適う広報は殆ど無かったと思う。しかし、尊敬してやまなかつた故島袋満氏の功績が大きかった。「広報なきじん」を少しでもかじれたこと、色々な行事を取材し、見聞を広められたことなど自分には好い事づくめであった。村民の皆様、ご協力ありがとうございました。また、人事異動である。後任をよろしく……。